

VOLVO

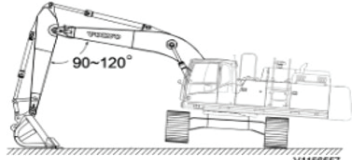
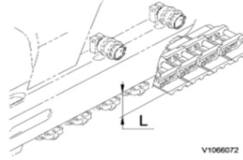
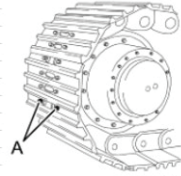
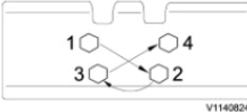
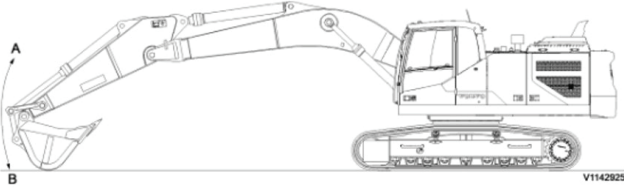
★印：新車基準値を表す。

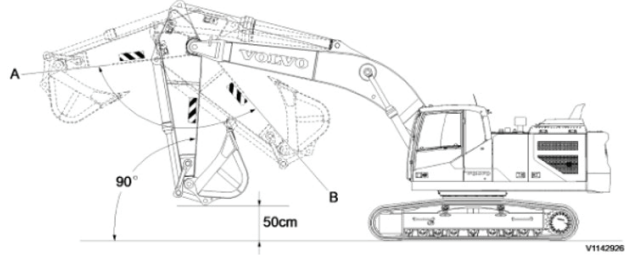
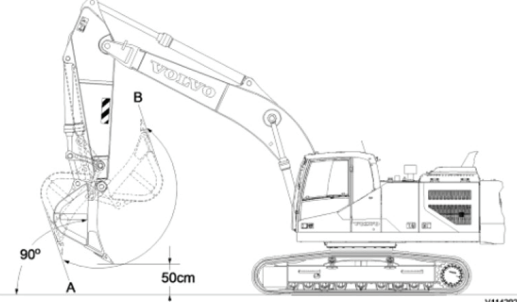
適用範囲		モデル名		EC750EL	
		適用号機		314207.0	
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値	
エンジン	エンジン本体 【電子制御式】	エンジン回転速度	rpm	1900.0	
		ハイアイドルリング	rpm	800.0	
		ローアイドルリング			
		(冷却水温)	(℃)	記載無し	
		(作動油温)	(℃)	50±5℃	
		弁すき間			
		吸気弁 スキ間	mm	0.30 ±0.05 mm	
		排気弁 スキ間	mm	0.60 ±0.05 mm	
		(測定条件 低温時)	(℃)		
		圧縮圧力又は気筒間圧縮圧力差	kg/cm2 MPa	気筒間圧縮圧力差は15%以下 15%以下	
燃料装置	噴射ノズルの燃料噴射開始圧力	kg/cm2 MPa	0.372-0.381		
冷却装置	ファン駆動ベルトの張り ベルト中央部を親指で押す	mm kgfm Nm	オートテンショナー		
走行装置	走行性能	最高速度	秒	4.6 km/h	
		[測定方法・条件]			
	履帯 (クローラベルト)	ゴムベルト	張り(たわみ量) [測定方法・条件(図面番号表示)]	mm	-
		鉄シュー	張り(たわみ量) [測定方法・条件(図面番号表示)]	mm	一般土壌 420-440 岩石の多い地面 400-420 砂利・砂・雪等の土壌
		履帯取付けボルト締付けトルク	kgf・m N・m		190±10 1863±98
		(整備点検項目)			

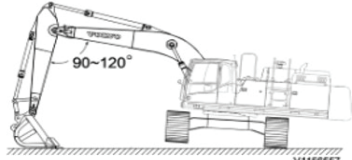
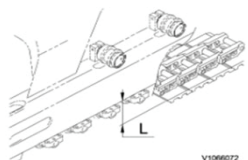
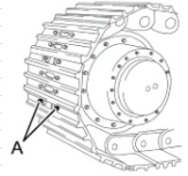
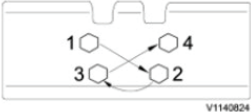
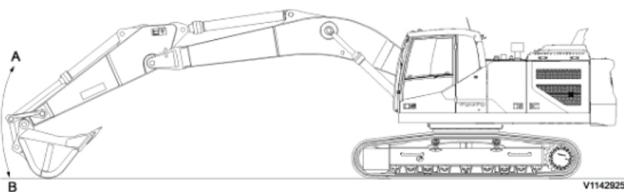
VOLVO

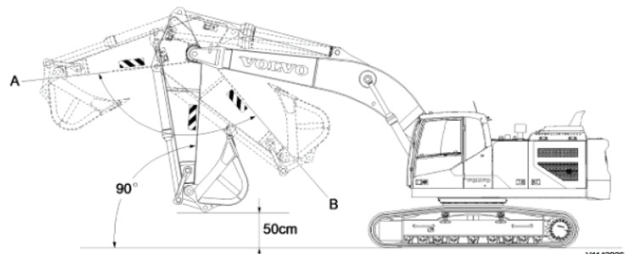
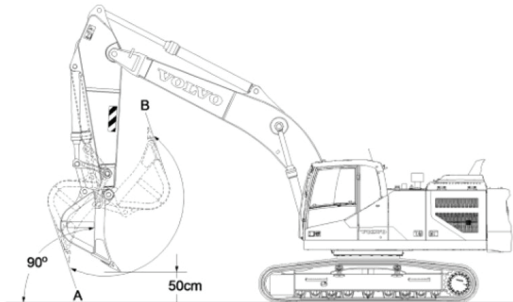
★印：新車基準値を表す。

適用範囲		モデル名		EC750EL		
		適用号機		314207.0		
走行装置	タイヤ空気圧	フロントホイール	MPa kgf/cm ²	- -		
		リヤホイール	MPa kgf/cm ²	- -		
		ホイールナット及びボルトの締付けトルク	N・m kgf・m	- -		
	作業装置	作業機自然降下	バケット先端位置 (測定時間) (作動油温) 作業装置姿勢 (図面番号表示)	mm (分) (℃)		
			シリンダ自然伸縮	ブームシリンダ/2ピースブーム アームシリンダ バケットシリンダ ブレードシリンダ (測定時間) (作動油温) (図面番号表示) バケット荷重	mm mm mm mm (分) (℃) kg	10 10 40 5
			作業機速度	ブーム伸ばし 許容限度 縮め 許容限度 作業装置姿勢 (図番号1)	秒 秒 秒 秒	4.4±0.4 5.1 3.4±0.3 3.8
油圧装置	油圧回路設定圧力	主回路設定圧力	kgf/cm2 MPa	365+15/-10 35.8+1.5/-1		
		性能測定条件	ブーストモード・高回転			
		動力伝達装置	旋回ベアリング取付けボルトの締付け	kgf・m N・m	176±17 1761±176	
動力伝達装置	旋回減速機取付けボルトの締付け	アウトレース取付けボルトの締付けトルク	kgf・m N・m	176±17 1761±176		
		インナレース取付けボルトの締付けトルク	kgf・m N・m	176±17 1761±176		
		油圧モータ取付けボルトの締付けトルク	kgf・m N・m	882±88 90±9		
		旋回減速機取付けボルトの締付けトルク	kgf・m N・m	24.0 235.0		

項目	測定方法
トラックシューたわみ測定	<p>石や岩の多い地面で作業する場合、お互いに噛み合っている足回りのコンポーネント同士が、強い張力によって密着しやすくなるため、トラック張力をきつく調整する必要があります。トラックが緩いと、足回りのコンポーネントが不適切に噛み合ってしまうやすくなり、以下のような故障を引き起こす恐れがあります。</p> <p>【故障の事例】 トラックリンクローラーの摩耗、シューボルトの緩み、トラックリンクピンのクリーピング/シフティング、トラックリンクの亀裂など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 上部構造体を横に旋回し、ブーム及びアームを使用してトラックを持ち上げます。この動作では、レバー操作をゆっくりと行ってください。(図1) 2. トラックを前方および後方に、数回ゆっくりと回します。後方に移動しながらトラックを停止します。 3. トラックフレームの中央でトラックの緩み(L)を測定し、トラックフレーム下部とトラックシュー上面の隙間を測定します。(図2) 4. 土壌の特性に応じて、トラック張力を調整します。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>図1</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>図2</p> </div> </div>
トラックシューボルト締付トルク	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上部構造体を横に旋回させ、ブームダウン操作によってトラックを持ち上げます。 2. トラックを前方および後方に、数回ゆっくりと回します。シューボルトおよびシューに欠落、緩み、損傷がないか確認します。指定トルクでボルトを締め付けます。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>図1</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>図2 ボルトを締め付ける順</p> </div> </div>
作業機速度計測姿勢【ブーム 図1】	<p>測定準備 アームシリンダー最縮長 バケットシリンダー最伸長</p> <div style="text-align: center;">  <p>図1</p> </div> <p>測定操作 ブーム上げ(B→A)、ブーム下げ(A→B)の所要時間を測定します。</p>

項目	測定方法
作業機速度計測姿勢【アーム 図2】	<p>測定準備 バケットシリンダー最伸長 アーム90°時、バケットブラケット高さが50cm(下図参照)</p> <div style="text-align: center;">  <p>図2</p> </div> <p>測定操作 アーム(B→A)、アーム下げ(A→B)の所要時間を測定します。</p>
作業機速度計測姿勢【バケット 図3】	<p>測定準備 アーム90°時、バケット爪先高さが50cm(下図参照)</p> <div style="text-align: center;">  <p>図3</p> </div> <p>測定操作 バケット掘削(A→B)、バケット放土(B→A)の所要時間を測定します。</p>

項目	測定方法
トラックシューたわみ測定	<p>石や岩の多い地面で作業する場合、お互いに噛み合っている足回りのコンポーネント同士が、強い張力によって密着しやすくなるため、トラック張力をきつく調整する必要があります。トラックが緩いと、足回りのコンポーネントが不適切に噛み合ってしまうやすくなり、以下のような故障を引き起こす恐れがあります。</p> <p>【故障の事例】 トラックリンクローラーの摩耗、シューボルトの緩み、トラックリンクピンのクリーピング/シフティング、トラックリンクの亀裂など</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 上部構造体を横に旋回し、ブーム及びアームを使用してトラックを持ち上げます。この動作では、レバー操作をゆっくりと行ってください。(図1) 2. トラックを前方および後方に、数回ゆっくりと回します。後方に移動しながらトラックを停止します。 3. トラックフレームの中央でトラックの緩み(L)を測定し、トラックフレーム下部とトラックシュー上面の隙間を測定します。(図2) 4. 土壌の特性に応じて、トラック張力を調整します。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>図1</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>図2</p> </div> </div>
トラックシューボルト締付トルク	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上部構造体を横に旋回させ、ブームダウン操作によってトラックを持ち上げます。 2. トラックを前方および後方に、数回ゆっくりと回します。シューボルトおよびシューに欠落、緩み、損傷がないか確認します。指定トルクでボルトを締め付けます。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>図1</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>図2 ボルトを締め付ける順</p> </div> </div>
作業機速度計測姿勢【ブーム 図1】	<p>測定準備 アームシリンダー最縮長 バケットシリンダー最伸長</p> <div style="text-align: center;">  <p>図1</p> </div> <p>測定操作 ブーム上げ(B→A)、ブーム下げ(A→B)の所要時間を測定します。</p>

項目	測定方法
作業機速度計測姿勢【アーム 図2】	<p>測定準備 バケットシリンダー最伸長 アーム90°時、バケットブラケット高さが50cm(下図参照)</p> <div style="text-align: center;">  <p>図2</p> </div> <p>測定操作 アーム(B→A)、アーム下げ(A→B)の所要時間を測定します。</p>
作業機速度計測姿勢【バケット 図3】	<p>測定準備 アーム90°時、バケット爪先高さが50cm(下図参照)</p> <div style="text-align: center;">  <p>図3</p> </div> <p>測定操作 バケット掘削(A→B)、バケット放土(B→A)の所要時間を測定します。</p>